

☆失明の危機の回避

その日いつものとおりに、透析開始前の控え室で患者仲間と雑談していましたが、私ととても親しかったUさんが突然亡くなったと知らされました。

私の店にもときどきお出かけいただきだったので、とにかくお焼香に伺うことにしました。

お焼香の後で、残された奥様の口から出た言葉は、命を落とすようなこととはつゆ知らず、透析の合併症でよくみられる眼底出血の治療で受けた点滴の最中に、副作用による急性心不全で逝去されたとのことで、肩を落としていました。

私は、この事実を聞いて、驚きを隠せませんでした。

なぜなら、Uさんが受けた点滴による治療を、私も医者から何度もしつこく勧められていたからです。

私も、この点滴治療を受けていたら今ごろはと思うと、クスリの怖さを改めて思い知らされました。

腎臓病者や透析者のために、もう少しこのことを詳しく説明してみましよう。

私たち透析者は、透析の都度、血液が血液回路やダイヤライザー内に凝固しないように、抗凝固剤を使用します。

このため、常に、出血しやすい傾向があり（特に、透析の日は）、私もその日、透析が終了して帰路についていた最中に、突然右目が爆弾を受けたようにパーッと白く光りました。

「これはおかしい」と思いすぐに眼科医に診察を受けたところ、眼底出血しているので、すぐに、止血効果のある薬（ウロキナーゼという、人間の尿から精製したもの）を点滴しましょうとのことでした。

その時、私はすぐに返事をしないで、ひと呼吸間をおいて、若い医師にたずねました。

「私は、透析患者ですが、点滴の副作用はどのようなのか」と……。

次の瞬間、若い医師は、一瞬とまどったような表情をしたのを私は見逃しませんでした。

そして、ついに、医者再三の勧めにもかかわらず、片目が失明してもよいからと、この点滴治療を断固として拒否し、かのパイヤ発酵食品を食べ続けたのです。

Uさんは、私と同じように眼底出血になり、この点滴を受けて間もなく急性心不全の副作用で逝ってしまったのです。

私は、Uさんが、このような治療を受けると聞いていれば、教えてあげられたのにとがっかりしましたが、失明すると宣告された私の右目は手術もしましたが、この食品のお陰もあり、今も、0.3の視力を維持できています。

以上のいくつかの体験談事例にみられますように、腎臓病や肝臓病、そして、糖尿病などにあつては、過剰に産生する活性酸素の影響を視野に入れた自己管理をすることにより、これらの病気の進行を抑制したり、時に回復に至らしめたりすることもあるのです。決して諦めてはいけません。

そのためには、私が体験しているような活性酸素対策のための抗酸化食品の応用も必要になってくるのです。

そしてまた、これらの病気で長生きするためにも、この情報は、お役に立てることと信じております。

ちなみに、私が愛用している『宮古島産パイヤ エンザイム・サプリメント(酵素補給)』は、原料のパイヤすべてが、無農薬栽培されたもので、しかも、採取時間(エネルギーの一番高い満月の夜明け前)や生果汁(クラッシュジュース)の発酵方法にも独自の工夫を凝らして製品化されているものです。